

おたがいさまのまちづくり vol.1

東区では、高齢者をはじめ子どもや障がい者等すべての住民が、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし、「おたがいさま」の心で支え合えるまちを住民とともにつくることを目指しています。

9月に台風10号が接近した際、東区では1,200人以上の方が避難所を利用されました。一方で、避難所までの行き来や避難所での生活に不安があり、避難をしなかった人もいます。

慣れない場所で大勢の人が一緒に過ごすことになる避難所は、環境の変化に対応することが苦手な認知症の人には負担が大きく、パニック状態になったり、転倒などのリスクも高まります。しかし、認知症サポーターが多く暮らす地域の避難所では、理解ある行動やちょっとした配慮によりみんなが穏やかに過ごすことができた、という先例もあるそうです。

熊本県は認知症サポーター養成率日本一(2020年3月末現在)で、東区にも多くの認知症サポーターがいます。皆さんの理解とさりげないサポートで、誰もが安心して暮らせる東区をつかっていきたいですね。



認知症サポーターの皆さまへ

認知症について正しく学んだ認知症サポーター、キャラバン・メイトのみなさんの理解ある対応、さりげない見守りは認知症の方やそのご家族にとって大変に強いものです。高齢者の対応やご自身の健康管理に十分に留意しながら、ぜひ今こそ力を貸してください。

全国キャラバン・メイト連絡協議会HPより

× 驚かせない

「後ろから声をかける」「大きな声で話しかける」「雑音の多い場所で話す」と避けます。

× 急がせない

せかしたりせず、できるだけゆっくりと話します。本人のペースを尊重し、反応を見ながらペースを調整します。

こんなところに気をつけて

× 自尊心を傷つけない

一言不安になっているのは本人です。言葉を傷つける言動は避けます。

- 相手の服装でもとやかく言わないで、特によく見られる服装は避けます。
- 自分以外の服装、自分の服装のせいでなく、それはバリエーションにすぎず、尊重する心も大切です。まずは相手の服装を褒めたい気持ちをお願いします。
- もしバリエーションがなくても、いつでも準備をしておき、対応できるようにしてください。

○ さりげない見守りを

認知症の人一人で避難所から出て行って危険な目に合う可能性があります。家族以外の人をさりげない見守りをお願いします。

「気にしないで」「お互い様ですから」などのひと声をかけ合ひましょう。

NPO法人 地域共生政策推進機構 全国キャラバン・メイト連絡協議会

全国キャラバン・メイト連絡協議会HPより
(東区役所福祉課 ☎367-9127)

東区ニュース

東区まちづくり懇話会を開催しました

10月16日(金)に東部公民館で令和2年度第2回東区まちづくり懇話会を開催しました。

まちづくり懇話会は、これからの東区のまちづくりについて意見交換をする場で、委員は、学識経験者や地域団体の代表者、防災や福祉などの関係者、公募委員などで構成されています。

第2回のまちづくり懇話会では、新型コロナウイルス感染症の影響により新たに発生した地域課題への対応策や「新しい生活様式」を踏まえた今後のまちづくりのあり方、令和3年度の東区まちづくり事業(案)について意見交換を行いました。

今後は、委員からの意見や地域ニーズ等を参考にしながら、区のまちづくり事業の組み立てを行い、区民と区役所の協働による暮らしやすいまちづくりを推進していきます。



(東区役所総務企画課 ☎367-9121)

令和2年度 東区退任自治会長感謝状贈呈式を開催しました

10月30日(金)に東区役所で「東区退任自治会長感謝状贈呈式」を開催しました。自治会長として3年以上在任し、昨年9月から今年8月までの間に退任した東区管内の元自治会長6人(対象者14人)へ感謝状を贈呈しました。長い間、地域振興や地域の発展にご尽力いただき、誠にありがとうございました。



感謝状贈呈対象者(順不同・敬称略)

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 内藤 征夫(画図1) | 村上 吉宏(託麻北12) | 荒木 三千子(長嶺2) |
| 村上 徹郎(健軍2) | 木本 照國(託麻西4) | 吉田 徹男(長嶺4) |
| 植田 二郎(健軍6) | 稲津 孝夫(託麻西5) | 伊藤 孝雄(西原1) |
| 宮本 徳弘(桜木東3) | 森崎 征夫(託麻南1) | 竹山 芳樹(若葉6) |
| 松井 公治(託麻北3) | 田口 範明(託麻南8) | |

(東区役所総務企画課 ☎367-9121)